学校番号	103

令和８年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅤ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	ステップアップ高校スポーツ（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・キャンプで、自然と触れ合うことや厳しい環境で過ごす中で様々な体験を通して自身で多くのことに気づいてもらいたい。
・集団活動の中でリーダーシップ、フォロアーシップを身につけ、責任をもって仕事をすることや集団の中で自分の役割を見つけ主体的に取り組む態度を育んでほしい。
・スキーでは雪上の特性を理解して、技術・技能の向上を目指します。
・ゲレンデでの安全とマナーを学び、生涯スポーツにつなげてほしい。

2　学習の到達目標

・野外活動において自然との関わりの中で、安全に活動ができるよう知識の習得や適切な行動がとれるようになる。
・集団活動の中で個人の役割や責任を理解し、主体的に取り組む態度を養ってほしい。
・様々な状況対して、観察し客観的に捉えて適切な判断のもと臨機応変な対応ができるようなる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	野外活動における技術・様々な状況に対しての対応に関する知識の習得ができている。野外活動の特性を理解する中で、効率の良い動きを習得することで技術の向上させることができる。 多様な技術の習得が必要となる中で、特性に応じて段階的な技能を身につける。	自分の課題を発見して、それに対して合理的・計画的に解決できるよう様々な状況を的確に判断して取り組むことができる。 自然に関する知識を活用して臨機応変に対応ができるように考えて行動できる。 自己や仲間の考えたことを他者に正確に伝えている。	生涯にわたって継続して野外活動の楽しさを味わうために、協働の経験を通して、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとする。 自他の健康・安全に対しての意識を持ち主体的に判断して活動に参加している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	キャンプ実習	テント設営・撤収	a:テント設営と撤収に必要な知識や手順を理解している。 ペグの打ち込みやロープワークができる。 b:課題を解決するために仲間と話し合う場面で合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えている。 c:自主的に取り組もうとしている。仲間と互いに助け合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	観察 筆記 テスト ノート	観察 ノート	観察 ノート
		自炊活動	a:自炊活動に必要な知識や手順を理解している。 b: 課題を解決するために仲間と話し合う場面で合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えている。 c: 自主的に取り組もうとしている。仲間と互いに助け合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	観察 ノート	観察 ノート	観察 ノート
		開拓作業	a:開拓作業に必要な知識や手順を理解している。 b: 課題を解決するために仲間と話し合う場面で合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えている。 c: 自主的に取り組もうとしている。仲間と互いに助け合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	観察 筆記 テスト ノート	観察 ノート	観察 ノート

1学期	キャンプ実習	キャンプファイア	a:キャンプファイアに必要な知識や手順を理解している。 b: 課題を解決するために仲間と話し合う場面で合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えている。 c: 自主的に取り組もうとしている。仲間と互いに助け合おうとしている。一人一人の違いを大切にしている。	観察 ノート	観察 ノート	観察 ノート
3学期	スキー実習	①事前学習 行程の作成 しおりの作成 スキーの基礎知識	a: スキー場でのマナーや用具の使用法を学び、技術とその高め方、課題解決の方法、活動プログラムの企画・運営の仕方などを理解している。 b: 「スポーツV」の知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価，目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。 c: 野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、互いの技術の上達に向けて助け合い高め合い、グループの役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。	観察 筆記テスト ノート	観察 ノート	観察 ノート

		②スキー技能 プルークボーゲン シュテムターン パラレルターン （大回り・小回り）	a:重力を利用して進み、体重をかける、体を上下動させるなど、自らの力を加えることで用具操作することができる。またスキーの基礎技術を理解している b:スキー場で目的に応じた用具を用いて雪の上を滑走、滑降することを通して、設定されたポールを通過し雪の斜面を滑り降りるアルペンスキーなどで、滑降、ターン、停止などの技能を用いて、斜面や雪の状態に適応して滑ったり、タイムを競ったりすることができるようになる。 c:自主的に取り組み、仲間と協力して技能向上に努めている。	観察 実技 テスト ノート	観察 ノート	観察 ノート
		③レクリエーション	a: 豊かな人間関係やコミュニケーションの促進、心身の健康づくりといった、レクリエーションの意義を理解している。 b: 仲間と助け合い、高め合い、一人では解決できないような難しい課題に対して、メンバー全員が協力し、試行錯誤を繰り返しながら課題を解決している。 c: 学習に主体的に取り組むとともに、グループの役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。	観察 ノート	観察 ノート	観察 ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度